

地域住民に親しみ愛される、 身近なレク森を目指して

十勝西部森林管理署 業務グループ 上野 絢子
芽室町役場 農林課 農林係 係長 佐藤 史彦

取り組みの背景・目的

レクリエーションの森については、国民ニーズの変化に応じた質的向上の取り組みと地域関係者の協力体制が求められています。このような動きのなか、当署の国見山自然観察教育林も職員主体で施設整備・管理を行ってききましたが、予算や当署の管理体制等を勘案するなかで、巡視活動や枯損木・倒木の処理など管理を適切に行っていくため、遊歩道を半分程度の路線数に縮小しました。このことに対し、地元利用者から「自然観察教育林としての趣旨が生かされるよう、利用者等と協議して維持管理して欲しい」との声が上がり、地元関係者・団体による国見山自然観察教育林管理運営協議会立ち上げに至りました。

本取組は、将来にわたり国見山が地域住民に親しみ愛されるレク森であり続けるために、地域と国有林が連携・協力して整備・管理及び活用に関する活動が円滑に実施されることを目的としています。

国見山の現状

国見山は帯広市近郊の芽室町、音更町の2町にまたがって存在し、帯広市内の小学校、幼稚園や保育園の遠足や近隣住民の自然観察会など憩いの場となっています。より楽しく安心して利用していただくために、以下の問題点があります。

- ・木製施設が腐朽や破損している
- ・間伐の遅れにより枯損木、かかり木が多数発生している
- ・樹木につるが絡みつき、倒木の危険がある
- ・ウルシがあり、利用者がかぶれる危険がある
- ・展望台周辺の樹木が生長し眺望が妨げられている
- ・駐車場周辺の不法投棄が絶えない



展望台の様子(夏)

今までの取り組み

○毎年の活動としてボランティアによるゴミ拾い・清掃・草刈り等を実施しています。



清掃・ゴミ拾いの様子



草刈りの様子

○今年度は、協議会主体でボランティアによる樹名板の設置、木製階段の修繕・設置を行いました。当署では腐朽していた木製ベンチの取り替えを行いました。



樹名板の設置



協議会会長(芽室町長)挨拶
(ボランティア活動開会式の様子)



木製階段の修繕



木製ベンチの取り替え

今後の展開

今後解決すべき問題として、林内を明るくするための伐採や眺望を確保するための展望台周辺整備などについて、地元利用者の理解・協力を得ながら施業を考えていきます。また、より地域住民に親しみ愛されるレク森を目指して、安全確保や広報誌・機関誌等による広い情報提供を協議会と国有林が連携・協力して取り組んでいくことを考えています。